



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 日本農業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4997 URL <https://www.nichino.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 友井 洋介  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務・法務部長 (氏名) 永井 統尋 (TEL) 03-6361-1400  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日～2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,683	0.6	△192	—	△345	—	△170	—
2019年9月期第1四半期	11,608	1.2	△236	—	△150	—	△201	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △239百万円(—%) 2019年9月期第1四半期 △968百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△2.17	—
2019年9月期第1四半期	△2.56	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	96,645	57,356	57.6
2019年9月期	94,464	58,198	59.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 55,633百万円 2019年9月期 56,244百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年12月20日開催の第120回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、2020年度より決算期を9月30日から3月31日に変更いたしました。従いまして、2020年3月期は6ヶ月間です。

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△0.5	3,200	△21.8	3,200	△21.6	2,400	△19.5	30.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年12月20日開催の第120回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、2020年度より決算期を9月30日から3月31日に変更いたしました。従いまして、2020年3月期は6ヶ月間となるため、通期の対前期増減率は2019年第2四半期(累計)と比較しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	81,967,082株	2019年9月期	81,967,082株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,192,243株	2019年9月期	3,191,971株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	78,774,991株	2019年9月期1Q	78,775,936株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、高水準で推移する企業収益を背景に雇用情勢が改善し個人消費が持ち直すなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、景気の先行きは、米中通商問題や中国経済の先行きなど海外経済の動向に加え、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向など、依然不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「Ensuring Growing Global 2021(EGG2021) グローインググローバルを確実に！」に取り組み、収益性の向上とグループ力強化を目指しております。

当社グループの第1四半期業績は、中核事業である農薬事業が不需要期にあたる季節的要因から売上高、利益とも低い水準に止まる傾向があります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、116億83百万円（前年同期比74百万円増、同0.6%増）となりました。利益面では、営業利益は△1億92百万円（前年同期比43百万円増）、経常利益は△3億45百万円（前年同期比1億95百万円減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は△1億70百万円（前年同期比31百万円増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

#### [農薬事業]

国内農薬販売では、水稲用殺菌剤「ブイゲット」を始めとする自社開発品目の普及拡販に努めました。しかしながら、昨年相次いだ自然災害に起因する流通在庫の影響などから売上高は前年同期を下回りました。

海外農薬販売では、北米での販売が好調に推移しました。また、雨季後半の降雨など天候に恵まれたインドで販売が伸長しました。一方、競争激化からブラジルでの販売が伸び悩みました。

これらの結果、農薬事業の売上高は102億70百万円（前年同期比2億28百万円減、同2.2%減）となりました。営業利益は△4億21百万円（前年同期比99百万円減）となりました。

#### [農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤の販売が堅調に推移しました。

医薬品事業では、外用抗真菌剤「ラノコナゾール」ならびに「ルリコナゾール」の売上高が伸長しました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は9億6百万円（前年同期比1億64百万円増、同22.2%増）となり、営業利益は3億4百万円（前年同期比90百万円増、同42.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21億81百万円増加し、966億45百万円となりました。これは、現金及び預金の減少を上回るたな卸資産の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ30億23百万円増加し、392億89百万円となりました。これは、流動負債その他（主に未払金）等の減少を上回る仕入債務の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8億41百万円減少し、573億56百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金の増加があったものの、親会社株主に帰属する四半期純損失及び配当金の支払いによる利益剰余金が減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月12日公表の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,721	14,379
受取手形及び売掛金	22,029	21,014
電子記録債権	1,648	934
商品及び製品	13,477	16,696
仕掛品	798	936
原材料及び貯蔵品	4,877	8,296
その他	1,939	2,357
貸倒引当金	△139	△146
流動資産合計	62,354	64,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,992	4,874
機械装置及び運搬具（純額）	3,464	3,365
土地	6,061	6,052
その他（純額）	721	671
有形固定資産合計	15,240	14,964
無形固定資産		
のれん	5,124	4,882
その他	1,133	1,297
無形固定資産合計	6,257	6,179
投資その他の資産		
投資有価証券	5,206	5,629
親会社株式	521	644
その他	5,192	5,108
貸倒引当金	△308	△347
投資その他の資産合計	10,611	11,034
固定資産合計	32,109	32,178
資産合計	94,464	96,645

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,378	13,219
電子記録債務	345	826
短期借入金	7,819	8,304
1年内償還予定の社債	273	251
未払法人税等	550	341
賞与引当金	739	373
環境対策引当金	342	342
その他の引当金	59	33
営業外電子記録債務	74	133
その他	6,250	5,557
流動負債合計	25,834	29,383
固定負債		
社債	2,220	2,047
長期借入金	6,035	5,691
退職給付に係る負債	164	124
その他の引当金	49	42
その他	1,961	1,999
固定負債合計	10,431	9,905
負債合計	36,266	39,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,939	14,939
資本剰余金	15,068	15,068
利益剰余金	30,464	29,702
自己株式	△1,728	△1,728
株主資本合計	58,744	57,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,055	1,320
為替換算調整勘定	△4,128	△4,237
退職給付に係る調整累計額	573	568
その他の包括利益累計額合計	△2,499	△2,348
非支配株主持分	1,953	1,722
純資産合計	58,198	57,356
負債純資産合計	94,464	96,645

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
売上高	11,608	11,683
売上原価	7,567	7,596
売上総利益	4,041	4,086
販売費及び一般管理費	4,277	4,279
営業損失(△)	△236	△192
営業外収益		
受取利息	51	19
受取配当金	53	43
不動産賃貸料	19	18
持分法による投資利益	131	175
デリバティブ評価益	57	39
その他	41	19
営業外収益合計	354	316
営業外費用		
支払利息	125	143
為替差損	102	306
その他	40	19
営業外費用合計	268	469
経常損失(△)	△150	△345
特別損失		
固定資産処分損	3	19
特別損失合計	3	19
税金等調整前四半期純損失(△)	△153	△365
法人税等	△33	△90
四半期純損失(△)	△120	△275
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	81	△104
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△201	△170

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△120	△275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△634	264
為替換算調整勘定	△140	△204
退職給付に係る調整額	△3	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△69	△19
その他の包括利益合計	△848	35
四半期包括利益	△968	△239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,024	△19
非支配株主に係る四半期包括利益	55	△220



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しています。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他(純額)」が26百万円増加し、流動負債の「その他」が22百万円及び固定負債の「その他」が2百万円増加しています。

なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,499	741	11,240	367	11,608	—	11,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	0	1	194	195	△195	—
計	10,500	742	11,242	562	11,804	△195	11,608
セグメント利益又は損失(△)	△321	213	△107	60	△47	△188	△236

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△188百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△188百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,270	906	11,177	505	11,683	—	11,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	4	200	204	△204	—
計	10,274	906	11,181	706	11,887	△204	11,683
セグメント利益又は損失(△)	△421	304	△116	117	0	△192	△192

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△192百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△192百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。